

日本ベネックス 物流施設の屋根利用

屋根借りリメガソーラー事業



小林社長

甲子園のバックスクリーンなど、LE-D大型映像装置の取り扱いを得意としている同社では、2012年に環境エネルギー事業をスタート。2014年に「屋

対象は約
5000
平方メートルから

太陽光発電所の設計・施工と自社発電所の運営を手掛ける日本ベネックス（小林洋平社長、長崎県諫早市）は、物流施設の屋根を利用した「屋根借りメガソーラー」事業を展開している。

根借り」のメガソーラーとして、当時、

「ソファーム型接続」で稼働したケースと

これまでの実績とフ
ウハウを生かし、工

則、日中に行われる。

エネルギーの普及・
促進のため、ピーク

国内最大の「ベネツ
クス流山ソーラー」
ポート」を千葉県流
山市に完成させた。

同社は先月19日、
同印西市で伊藤忠ア
ドバンス・ロジス

なる。
小林社長は、「一定の条件下で系統への接続を認める「ファンファーム型接続」の千葉県での試行的な取り組みの対象

夫している」と語る。「屋根借り」の対象は、約5000平方㍍から。「新設の倉庫や物流センターだけでなく、強度があれば既存施設でも

力会社への売電がメイ
インだが、自家消費
も提案できる」と
し「FIT制度（固
定価格買取制度）に
依存しない再生可能

ネット用蓄電池や、
自家消費型太陽光発
電所の設置なども積
極的に進めていく」
語る。

ティクス投資法人が運用を行う物流施設「アイミツションズパーク印西」の屋根を賃借したメガソーラー「ベネックス印西ソーラーポート」の運転を開始。単独の物流施設における

で基幹系統の混雑時での出力抑制を前提に、連系が可能となつた」と説明。年間発電量は、一般家庭約900世帯分に相当する約318万kWhを見込んでい

問題ない」という。屋根を貰す倉庫側はパネルや工事費用などの負担がない上、賃料収入の他にも環境面での取り組みとして社会貢献をアピールできる。また、「太陽光発電装置は、

An aerial photograph showing a large industrial or agricultural complex. The central feature is a long, rectangular building with a dark roof and light-colored walls, divided into sections by white lines. To its right is a smaller, single-story building with a similar design. A paved road or driveway leads from the foreground towards the buildings. The entire complex is situated in a wooded area, with numerous trees visible around the perimeter.

屋根借りメガソーラーとしては国内最大級の約3MWを誇り、高圧太陽光発電所では国内初の「ノ

同社長は、「設置工事も目前でできることが当社の強み。工法やソーラーパネルの配置方法など、

工場立地法で「環境施設」にあたるなど、メリットもあるはず。工事期間は約2~3か月で原

An aerial photograph showing a bridge spanning a body of water, likely a river or a narrow canal. The bridge has multiple arches and is surrounded by green vegetation and some buildings in the background.